

## 資料2

# とりまとめ概要

※社会がスローダウンすると自分事と感じる。  
(計画運休、休業、道路の通行止めなど)

### 1. 背景 (流域治水の推進)

#### by ALL の流域治水

2℃の気温上昇時、洪水ピーク流量は2割増 (4℃上昇時4割増)。河川区域の対策だけでは対応できない。流域のみんなで、自然、産業を含め文化として治水に取り組む。



- ◎持続的に開発しつつも社会的機能を維持しながら災害に備える二刀流方式
- ◎人と人、自然と人、自然と自然のつながり
- ◎山も川も海も全部含めて流域治水

### 2. 課題

流域治水の必要性、意義を国民が知る ※約8割が知らない

知ることと行動のギャップを埋めて、自分ができることを考える

行動を誘発し、持続的、効果的に流域治水を推進



### 3. 流域治水の自分事化の取組方針

幅を広げ、質を上げる

#### (1) 知る: 流域治水の必要性、意義を知ってもらう

国からの情報発信をはじめとして、流域治水の必要性や意義を知ってもらう機会を増やす①知ってもらう取組を進める。

#### (2) 自分事化: 知ると行動のギャップを埋める

リスク情報の提供、防災教育の機会やコンテンツの提供等を通じて、②自分事化を促す取組を進め、各自が自分のできていることを考えてもらう。情動に働きかけていくことも。

#### (3) 行動: 行動を誘発していく

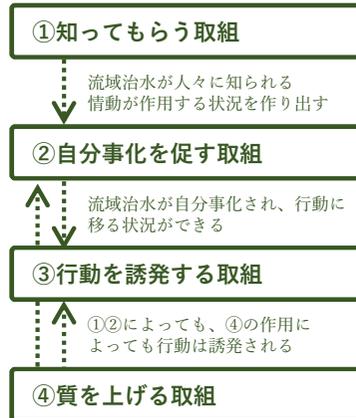
流域治水に実際に取り組むきっかけや、具体的な行動メニューの提供など、③行動を誘発する取組により、流域治水の取組の幅が広がっていく。

#### 意識の醸成を図り、国民運動、日本の文化に

日々の生活の中で水害、防災のことが意識され、全国的に流域治水の自分事化が図られ、社会全体が防災減災の質を高めるとともに、持続的に発展していく。

#### (4) 質を高め持続的な取組へ

さらに、トップランナーの育成や基準化を通じた④質を上げる取組を進める。知る、自分事化、行動全ての過程において質を高める。



※各取組が相互に作用しながら、幅が広がり質が上がっていく。

シンボル、モデルとなる人や事例、基準化によって①②③に影響が及ぼされ、全体的に質が高まる

◎着眼点と具体内容、留意点 ○具体施策

### 4. 施策を進めていく上での着眼点と具体策

#### (1) 知る人を増やすことと伝え方の工夫

- ◎気象条件を伝えるなど他人化できない状況を定着
- ◎取組を促す相手の特性に応じて伝え方を工夫
- ◎インフラツーリズムとの連携など、知る機会を増やす ※ネガティブなことをおしゃれに、楽しいことを伝える 住民自らのモニタリング

個人 企業・団体

- 流域治水ロゴマーク、ポスター
- 流域治水の日、週間
- 河川空間の利活用を通じた意識醸成
- SNS等での情報発信
- インフラツーリズムとの連携
- ダイナミックSABOプロジェクト
- 危機管理水位計、簡易カメラ、浸水センサー等システムの拡充

#### (2) 自分事化の機会創出と手段

- ◎防災教育 (住民自ら記憶を伝える、行動を学ぶ)
- ◎水害伝承 (記憶の風化を防ぎ教訓を伝える)
- ◎学べるコンテンツ (ウェブ、既存メディア活用)

個人

- 防災教育の推進 (既存施策)

- ◎補助金、税制優遇等の支援
- ◎防災関連ビジネスの推進、取組のアピール
- ◎社会を良くしたいという動機、SDGs

企業・団体

- 地域に貢献する水防活動への参画
- 流域治水オフィシャルサポーター制度
- 防災・減災ビジネスの推進 (オープンデータ活用)

- ◎取組の位置づけ、効果可視化 (デジタル活用)

個人 企業・団体

- デジタルテストベッド

#### (3) 自分事化を促す相手の把握と絞り込み (発信側と受け手側)

- ◎キーパーソンのタイプ (盛り上げ、自然環境、研究開発、危機意識) + 河川ごとの特徴
- ◎リーダーの育成 (防災士、気象予報士等との連携等)
- ◎インフルエンサー活用

- ◎防災教育に取り組む子供と家族
- ◎高齢者、災害弱者、若年層
- ◎リソースが不足している企業、建設分野他企業

#### (4) 主体的な取組が進むための環境整備

##### 1) 取り組みを実行する仕組みづくり

- ◎きっかけは様々 (河川の利用や生態系保全の取組から始めることも)
- ◎課題の把握、取組事例の共有、人と人をつなぐ仕組みの構築

##### 2) 社会のモードチェンジ

- ◎ポジティブな情動、同調圧力も
- ◎国からの情報発信による環境整備から

個人 企業・団体

- 共有プラットフォーム (全国流域治水MAP)

#### (5) 持続的に流域治水を推進

- ◎トップランナーの育成
- ◎防災教育を通じた質の向上
- ◎農業コミュニティ、集落機能の維持

個人 企業・団体

- 表彰制度 (流域治水大賞)
- 円滑な避難を支援する人材育成 (ファシリテーター派遣の仕組み)
- 気候変動リスク開示における民間企業の取組の支援 (TCFD)
- 防災教育に関する素材提供
- 水害伝承に関する情報 (コンテンツ) の普及・拡大

※各水系の流域治水プロジェクト等への反映とフォローアップ

### 5. 施策体系

細字：既存施策  
太字：新規施策

○ 自発的な取組を促す施策

○ 特に企業を対象とした施策

★ 一定の強制力を伴う施策

